

2024年度青山学院大学一般選抜（個別学部日程）

コミュニティ人間科学部

論述

【記述式問題】

〈出題の意図・ねらい〉

ディプロマ・ポリシーとして、「社会的な問題に関して、その解決のために積極的に行動する意欲を有している」ことや、「社会的な問題の具体的な解決方策への探求心を有している」ということが謳われているとおり、本学部の学生は「社会的な問題」に対する理解と関心を積極的に培うことに取り組んでほしい。この課題文は、社会的問題への取り組みの具体例である「子ども食堂」に着目するもので、孤独な状態で食事する「孤食」でもなく、共同体意識の醸成が目的とされる「共食」でもない、「ただご飯をおいしく、しゃべりながら食べる『縁食』の場」であるがゆえの子ども食堂の可能性に期待する内容となっている。こうした論旨を適切に読み取ったうえで、地域社会の在り方や子どもたちの居場所などについて柔軟かつ積極的に考察し、その過程を効果的に表現できるかどうかを測ることが出題の意図である。

問1は、課題文における主要なキーワードの意味を的確に把握・解釈し、そのことを簡潔に記述できる能力を測る。その記述においては、①著者が用いる「縁食」の語を適切に理解していること、および②「弱目的性」と「解放性」の両方についてバランスよく記述していることが必要とされる。問2は、「子ども食堂」について、問1で読み取ったキーワードを中心に課題文の主張を踏まえながら、検討・考察する内容を記述できる能力を測る。その記述においては、①課題文に関連する具体的な論点を意識した内容となっていること、および②解答者自身の主張が論理的に展開・表現できていることが求められる。